

概、傳單其、他各種アヤビラツ貼付シテ盛ニ其ノ宣
傳ヲ爲シツ、アリ

ニ更ニ爭議日報(既ニ第十三号ヲ發行)並ニ家庭ニリス
等ヲ發行シテ團員家族其他ニ配布スル外家庭ヲ訪問シテ
社ノ切崩シヲ警戒スルト共ニ常時會社附近ニニ、三名ノ監
視員ヲ派遣シテ社ノ動靜ヲ裏切者、有無ヲ監視セシメ
、アリ

ニ資本家側

イ會社ハ書面ヲ郵送シ或ハ社員ヲシテ被解雇者宛ヲ訪問セ
シメ解雇ノ已ムヲ得サリシ事情ヲ述ヘテ諒解ヲ求メ解雇
手當受領ノ勸告ヲ爲シタルモノ十六名ハ解雇手當ヲ受ケ
社員ニシテ、其ノ動靜ヲ監視シ、其ノ未だ解雇
ナルカ依テ爭議團ノ切崩シニハ奔走シツ、マリ
只會社ノ殘留員ニ對スル所謂「雜誌收策」ナルモノモ亦近

ハ外出スルモノ多ク現在ハ約五〇名内外ノ者カ社内ニ止
宿スル程度ニシテ而モ爭議團ト、連然ハ無キモノ、如ク
比客月二十一日殘留員中ノ袴塚三治外五名カ爭議團ニ社
内外部ノ動靜ヲ情報シタルト、故リ以テ出勤停止ノ処分
ヲ受ケタリ(適當ノ時期ニ出勤セシムル予定ナリト云フ)
ハ會社ハ事業継続ニ何等ノ支障ナキモノ内外ノ連絡其、他ノ
策謀ニ對スル警戒ハ嚴重ヲ極メツ、アリ

三 反核状況

爭議團本部ニハ時々加藤勘十、後沼稻次郎 中田惣善等ノ各
組合幹部出席シ團員ヲ激勵シ、マルカ客月廿三日、廿四日、
兩日ニハアナキ系東京印刷工聯合會関東一般労働者組合ノ山田
賢助、小川猛等外五名カ來訪シ過クル日本原紙爭議ニ對テノ
反核ニ對スル謝辞ヲ述ヘタル後盛ニ煽動的言辭ヲ弄シテ声
援ニヘキヲ反ソカシタルカ爭議團側ハ体ヨリ之ヲ拒絶セリ